取扱説明書

DAYTONA corp.
S66316①/⑦

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

Φ31フロントフォーク用 Fディスクブレーキキット （190mmWAVEローター）	適応車種	商品NO.
	モンキー／ゴリラ	66316

■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害については、当社では一切の責任を負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告

実施

- マスターシリンダーやブレーキキャリパー単体の整備不良、ブレーキホースの取り付け等の整備に不備があった場合、ブレーキが効かず追突や転倒等により大怪我や死亡事故につながる危険性があります。取り付けは必ず認証整備工場等の整備士に依頼し、確実に行ってください。
- ブレーキシステムのエア抜きが不完全な場合はブレーキが効かず追突や転倒等、大怪我や死亡事故につながる危険があります。必ず認証整備工場等の整備士に依頼し、確実に行ってください。
- マスターシリンダーのエア抜きには整備技術が必要であり、かつ独特の作業手順の理解が必要です。未経験者による作業は、不完全なエア抜き作業や、その他の整備の不備により大事故を起す恐れがあります。取り付け作業は、必ず認証整備工場等の整備士に依頼し、確実に行ってください。
- この商品の装着後は、慣らし運転を必ず行ってください。この慣らし運転は、ライダー自身に純正ブレーキとの制動力の違い等を理解して頂くためのものです。制動力の違いを理解して頂かないと、転倒の原因にもなりかねないため必ず行ってください。

⚠注意

- 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- 取り付け作業は設備の整ったオートバイ店、認証整備工場等の熟練した整備士に依頼してください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋm 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋm毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- この取扱説明書は、当社Φ３１フロントフォークＫＩＴ（品番 24301）装着車両に、純正フロントドラムブレーキ、純正フロントブレーキレバー装着車両を想定して作成しております。お客様の車両の仕様によっては、作業手順が異なる場合がございますのでご了承ください。
- この商品は、８インチホイールと組み合わせて使用することはできません。８インチホイールと組み合わせようとすると、リムとブレーキキャリパーが接触するために取り付けることができません。

実施

- この商品は当社製アルミホイールでセンターが出る設計となっております。ホイールの合わせがホイール中央（オフセット 0mm）になっているものと組み合わせることはできません。フロントホイールの装着の際、エアバルブの向きは左側です。
- ブレーキホースはハンドルのタイプによって長さが変わる為、KIT に付属していませんので、別途市販品または当社 HIGH-SPEC LINE をお買い求めください。
- 当社アップハンドル（ハンドル高さ２００mm）の場合、ブレーキホース長は７３０～７５０mm必要です。
- 取り付ける車両やハンドルに合わせてバンジョーフィッティングを選び、適切なホースの取り廻しを行ってください。
- ブレーキホースのバンジョーボルト（Ｍ１０ｘＰ１．２５ｘ２本）、シーリングワッシャ（４枚）は別途市販品をお買い求めください。
- ブレーキレバー操作をして、レバー稼動範囲に障害物がない事を必ず確認してください。
- ブレーキフルードが塗装面に付着すると塗装を傷めます。付着した場合はすぐに脱脂洗浄してください。
- 完全にエアが抜けるまで確実にエア抜き作業をしてください。タッチが出ない場合は、ブレーキシステム内にエアが混入しています。再度エア抜き作業を行ってください。

- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。

禁止

- ブレーキフルードはＤＯＴ４規格の、取付車両メーカーの指定するものをご使用ください。また、ブレーキフルードの取り扱いは指示に従って下さい。※ブレーキフルードにはシリコン系、グリコール系の２種類がありますが、この２種類は絶対に混ぜて使用しないでください。

その他

・この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予め御了承ください。

本商品の特徴

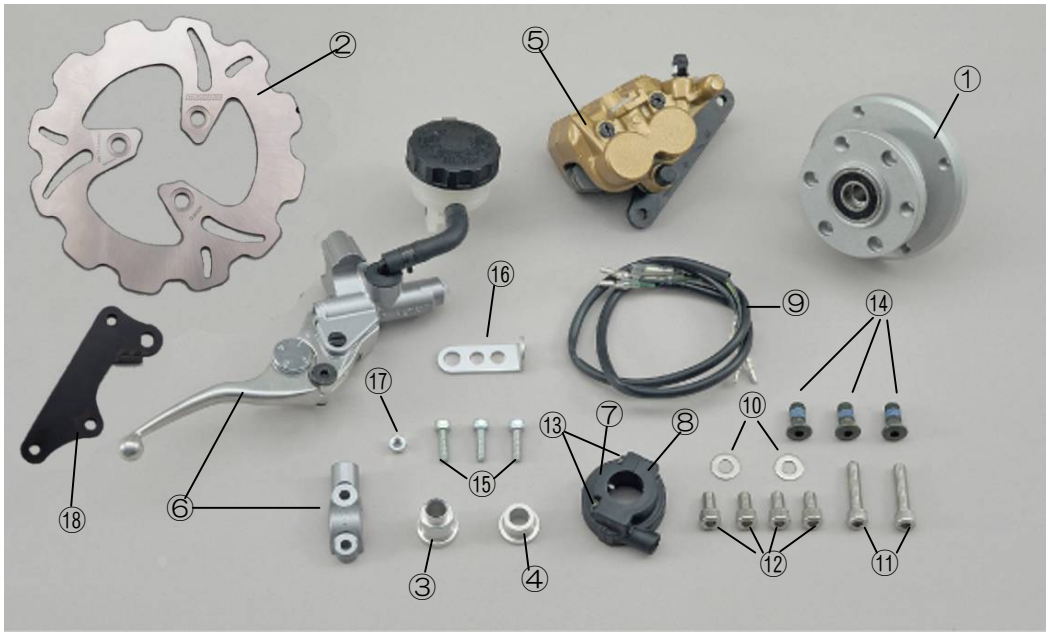
- 当社φ31 フロントフォーク用ディスクブレーキKIT。ブレーキ周りのパーツがワンパッケージ。
- 信頼の NISSIN 製マスター＆キャリパーを採用。
- ディスクローターは BRAKING 社の WAVE タイプを採用。190mmの大径ディスクにより、制動力および外観を向上させます。

外観

- ハブのディスクボルト取付穴が6穴。（従来品Ｍ１０×3穴）
- ブレーキキャリパー色：ゴールド／フロントブレーキマスターシリンダー色：グレー／ブレーキレバー色：シルバー

商品内容

No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量	No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ハブＡＳＳＹ/ホイール		1	⑩	平ワッシャ	M8	2
②	ディスクローター		1	⑪	六角穴付ボルト	Ｍ８ｘ３５	2
③	ホイールカラーＲ	Ｌ＝２２	1	⑫	六角穴付ボルト	Ｍ８ｘ２０	4
④	ホイールカラーＬ	Ｌ＝１３．４５	1	⑬	十字穴付ナベ小ネジ	Ｍ５Ｘ２２	2
⑤	キャリパーＡＳＳＹ		1	⑭	ディスクローター取付ボルト	Ｍ１０×２０	3
⑥	フロントマスターシリンダー	φ１１	1	⑮	六角穴付ボルト	Ｍ６ｘ２０	3
⑦	スロットルハウジング/アッパー		1	⑯	ブレーキタンクステー		1
⑧	スロットルハウジング/ロアー		1	⑰	Ｕナット	Ｍ６	1
⑨	ハーネス/ブレーキスイッチ		1	⑱	キャリパーブラケット		1



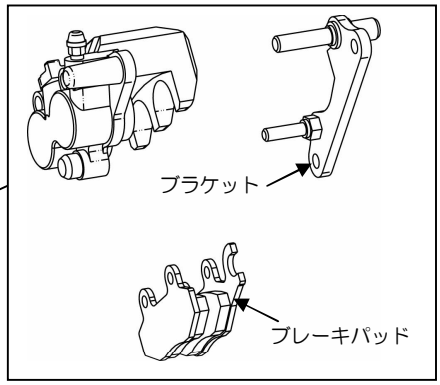
取付方法

1. ⑤キャリパーASSY からブラケットを取り外します。

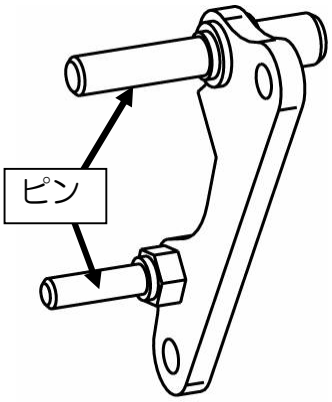
   パッドピンプラグを取り外し、パッドピンを抜きます。

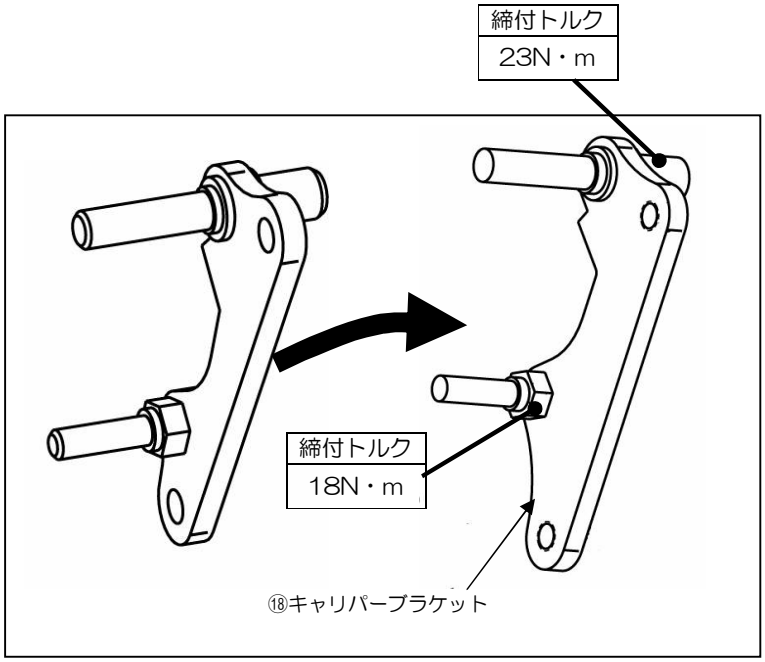
   ブレーキパッドを取り外します。

   ブラケットを取り外します。

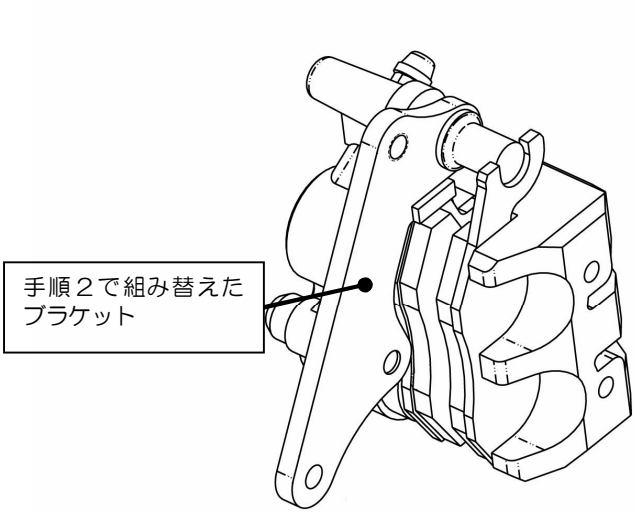


2. 手順 1 で取り外したブラケットからピンを取り外し、キットの⑱キャリパーブラケットに同じように取り付けます。



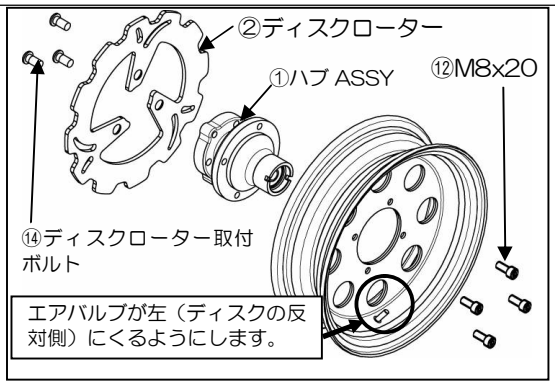


3. 手順２で組み立てたブラケットをキャリパーに組み立て、ブレーキパッドを元通りに取り付けます。



4. フロントホイールをフロントフォークから取外します。
5. フロントホイールから、純正ホイールハブを取外します。
6. ホイールのエアバルブ側から⑫六角穴付ボルト（M８ｘ２０）を締め付け、①ハブＡＳＳＹを仮組みしておきます。※８インチホイールは組み立てできません。
7. ⑭ディスクローター取付ボルト（Ｍ１０ｘ２０）にて、②ディスクローターを①ハブＡＳＳＹに仮組みします。
8. ③ホイールカラーR及び④ホイールカラーＬ、純正メーターギヤをフロントホイールにセットし、アクスルシャフトを通してフロントホイールＡＳＳＹをフロントフォークに取り付けます。

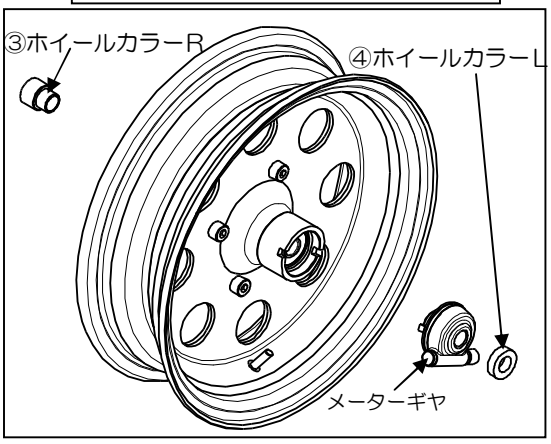
   アクスルシャフト締付トルク：40N・m



※説明のため、イラストではタイヤを省略しています。

9. 手順 7 で仮組みにしていたホイールと②ディスクローターをずらして、手順３でブラケットを組み換えた⑤キャリパーＡＳＳＹを正しい位置に組み立てて、⑪六角穴付ボルト（M８ｘ３５）と⑩平ワッシャで取り付けます。

   ⑪六角穴付ボルト締付トルク：20N・m



One Point！

手順６、７で仮組のボルトを締め過ぎていると、ホイールとキャリパーのクリアランスが取れず、作業が進めにくい場合があります。それでも取付が困難な場合は、⑭ディスクローター取付ボルトをいくつか取り外して作業するとキャリパーが装着しやすくなります。

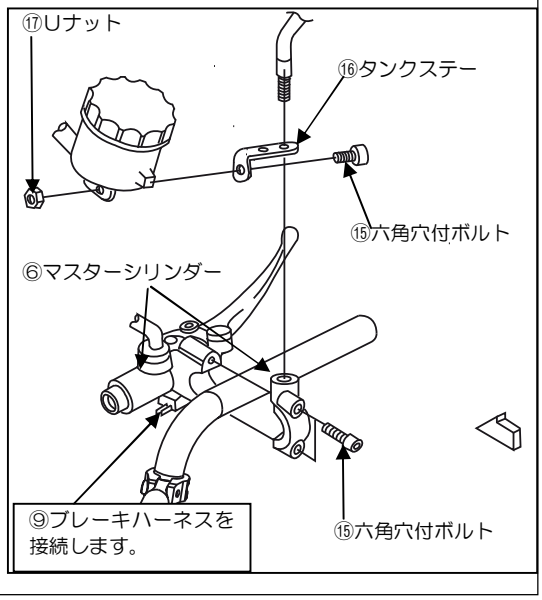
⚠注意

ホイールとキャリパーのクリアランスが少ないため、取付の際はホイールに傷や打痕を付けないよう注意して作業してください。
⑩平ワッシャを入れないで⑪六角穴付ボルトを取り付けると、ボルト先端が突き出てディスクローターに接触する場合があります。⑩平ワッシャは必ず入れてください。

10.手順６で仮止めしていた、①ハブＡＳＳＹの⑫六角穴付ボルト（Ｍ８ｘ２０）を本締めします。
   ⑫六角穴付ボルトの締付トルク：25N・m

11.手順７で仮止めしていた、⑭ディスクローター取り付けボルト（M10x20）を本締めします。
   ⑭ディスクローター取り付けボルトの締付トルク：25N・m

12. ヘッドライトレンズユニットを取り外し、純正フロントブレーキスイッチから出ている配線（黒、緑/黄）をヘッドライト内部のギボシ部分から取り外します。
13. 純正スロットルハウジングを取り外します。
14. ハンドルに⑥フロントマスターシリンダーを取付けます。
15. ⑨ブレーキスイッチハーネスを⑥フロントマスターシリンダーと手順９で取り外した純正ブレーキスイッチケーブルに結線し、ヘッドライトレンズユニットを車両に取付けます。



16.⑧スロットルハウジング/ロアーに純正スロットルワイヤーを取付けます。

17.純正スロットルスリーブと共に、純正ハンドルに取付けます。

One Point!

スロットルハウジングの内側の回り止めについては、ハンドルバーに穴を開ける、もしくはスロットルハウジングの回り止めを削るなどして取り付けてください。

18.⑦スロットルハウジング/アッパーを⑬十字穴付ナベ小ネジを使用し、スロットルハウジングを任意の位置で固定します。

19.バンジョーボルト、シーリングワッシャ(別売)を組合せ、ブレーキホース（別売）を取付けます。

⚠注意

ブレーキホースガスケットは、必ず新品を使用してください。

20. リザーバータンクのフタを外し、ブレーキフルードを注ぎエア抜きを行います。使用するブレーキフルードは取り付け車両メーカー指定品をお使いください。
※エアが抜けづらい時は当社商品：ＭＹＴＹ　ＶＡＣ（品番３９３２９/価格￥７，３５０税込）をお勧めします。

21. マスターシリンダーのタンクホースを握ったり、レバーを何度かストロークさせたりして、マスターシリンダー内のエアをリザーバータンク側へ逃がしてください。

22. レバーに多少タッチが出るまで行ってください。

23. エア抜きのホースをキャリパー側のエアブリーダーにつなぎ、レバーを何度かストロークさせ、握った状態でキャリパー側のエアブリーダーをゆるめエアを抜きます。レバーは握ったままの状態でエアブリーダーを閉めます。この作業を完全にエアが抜けきるまで何回か行ってください。
※ **締め付け不足、または過度の締め付けはフルード漏れの原因**になります。キャリパーのエアブリーダーは規定トルクで締め付けてください。
エアブリーダーの締付トルク：4～7N・m

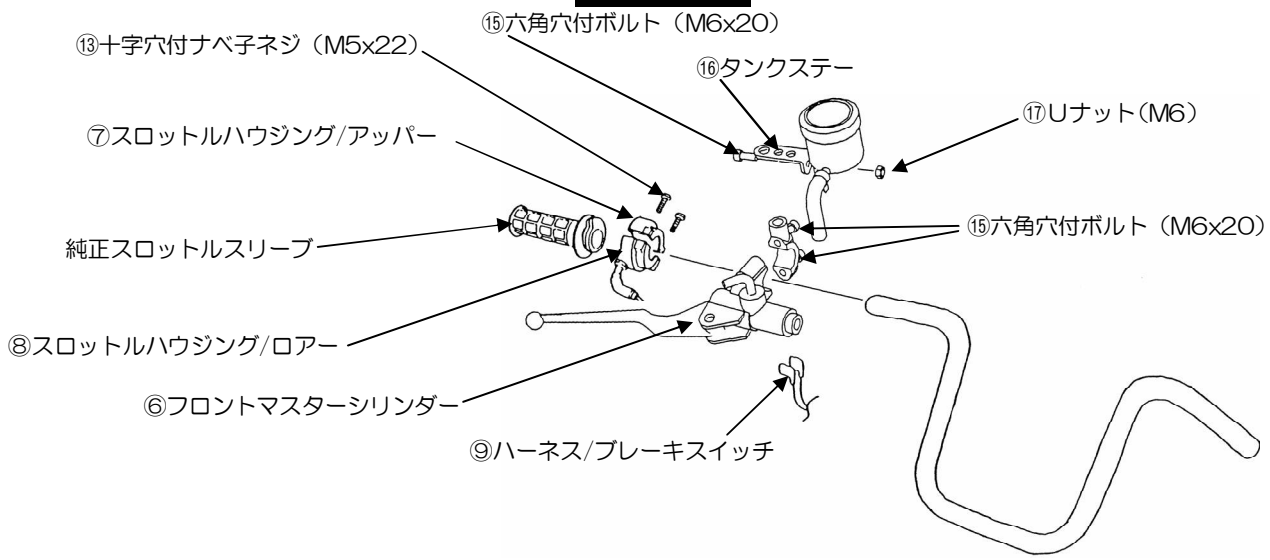
24. レバーを何度かストロークさせた後、タッチの確認、ブレーキの効きの確認を必ずしてください。

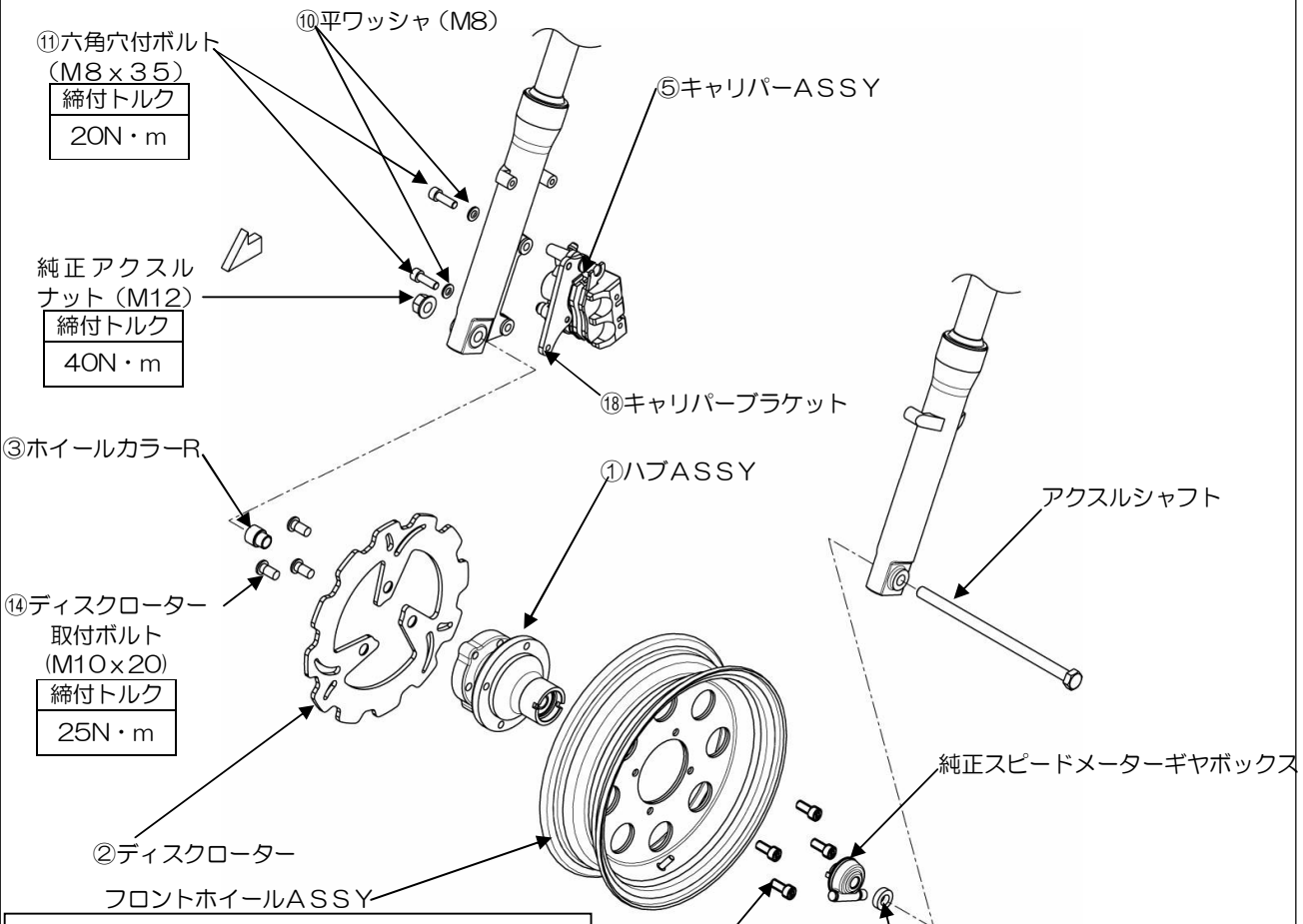
25. マスターシリンダー、キャリパー、またその他の場所でブレーキフルードが付着している部分をブレーキクリーナーなどで脱脂してください。（ブレーキフルードは、塗装を傷める恐れがありますので、完全に取り除いてください。ブレーキフルードが残りやすい箇所は、入念に脱脂をしてください。）

26. 最後にブレーキレバーを強く握った状態で、レバー位置が変化しない事、又、ブレーキホース、バンジョー取付部分等からフルード漏れ等のない事をご確認ください。

27. その他の部位に取り付けに異常のないことを確認し、作業は完了です。

取付詳細図





※使用するホイールについて
この商品のハブ ASSY はデイトナ製ホイールを基準に設計しております。
デイトナ製ホイールはそのままハブに取り付けできます。
他社製センターオフセットタイプ（オフセット量0mm）のホイールは取り付けできません。
8インチホイールは純正、社外品に関わらず取り付けができません。

株式会社 デイトナ
〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp　　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで